

デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

a) デジタル技術が社会や自社の競争環境にどのような影響を及ぼすか

当社の主な事業はWEBマーケティングであり、デジタル技術の進化は大きな機会となっています。デジタル技術の進化がWEBマーケティングに与える影響は以下のとおりです。

1. 顧客との接点(チャネル)の多様化

デジタル技術の進化により、ウェブサイト、ソーシャルメディア、電子メール、SMS、アプリなど多くの顧客との接点を持つチャネルが次々に誕生しています。

2. データドリブンマーケティング

デジタル技術により、膨大なデータを収集し分析することができるようになりました。このため、企業はより正確なターゲティングやキャンペーンの最適化ができるようになりました。データを活用することで、より効果的なマーケティング施策を打つことができます。

3. パーソナライズドマーケティング

顧客のデータ活用で、より個人に合わせたマーケティングを行うことができるようになりました。顧客の検索履歴や購入履歴、興味関心などを分析し、より適切な情報や商品を提供することで効果的なマーケティングを行います。

b) 上記aを踏まえた経営ビジョンやビジネスモデル

顧客のデータ活用により、デジタル技術を用いた企業活動の効率化の促進に取り組みます。そのために、テーマや業界を絞り、より専門性の高いソフトウェアの開発や仕組みの構築を行います。

c) 上記bの経営ビジョンやビジネスモデルを実現するための戦略

顧客の業務プロセスを分析し、効率化の課題を抽出します。また、業界の過去の非生産的な風習や組織風土を一度解体し、より最適化したソフトウェアや仕組みの構築をサービス化します。

d) 上記cの戦略を推進するための体制・組織(CIO(最高情報責任者)の配置、担当部門の配置等)

当社は代表取締役の直下に CIO(最高情報責任者)を設置し、CIO の指揮のもと、上記戦略を推進しています。

ビジネスプランの構築や設計を CIO が行い、開発実行を自社エンジニア及び外部のブレーンも活用して推進しています。